

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
相談援助 Social Work		2年	前期	火曜日・2時限、4時限
単位数	授業の形態	授業の性格		
1単位	演習	選択 (保育士養成課程必修)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
保育相談支援				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
障害児理解演習Ⅰ・障害児指導法演習Ⅰ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
小竹利夫	講義棟2階	月・火・水・木の8時～18時	授業中に指示します	
授業の概要				
相談援助の概要及び方法を理解し、事例分析を通して具体的展開を理解する。				
授業の到達目標				
①相談援助の概要を理解できるようにする。 ②相談援助の方法について理解できるようにする。 ③事例分析を通して相談援助の具体的展開を理解できるようにする。				
授業の方法				
事例集やVTRを使って具体的に相談援助が必要な事例を紹介し、その解決方法を探り、毎回小レポートにまとめる。				
学習の成果				
①相談援助の概要を理解することができる。 ②相談援助の方法について理解することができる。 ③事例分析を通して相談援助の方法を考え、実行することができる。 ④カウンセリングの技法を学ぶことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス。(授業の内容・進め方・評価の方法)			
第2回目	相談援助の概要と方法。			
第3回目	相談援助の実際。乱暴な子の行動の意味とその対応。			
第4回目	相談援助の実際。重い障害がある子とその保護者支援。			
第5回目	相談援助の実際。子どもの目線になって考える。			
第6回目	相談援助の実際。発達が気になる子と保育者支援。			

第7回目	相談援助の実際。困った行動とその対応。	
第8回目	相談援助の実際。保育者の悩みとやりがい	
第9回目	相談援助の実際。こだわりが強い子とその対応。	
第10回目	相談援助の実際。食べる意味とその工夫。	
第11回目	カウンセリングマインド。	
第12回目	実習で困ったケース。(施設)	
第13回目	実習で困ったケース。(保育園)	
第14回目	実習で困ったケース。(幼稚園)	
第15回目	まとめ。	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	50%	授業を集中して聞き、質問に対して積極的に答える。必要なことはきちんとノートに取る。
レポート	50%	毎回授業の課題に沿って小レポートを提出する。授業の内容を理解した上で、自分の考えを展開することが求められる。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「心の触れ合いを求めて」(小竹利夫)。 参考資料：実習エピソード集「心の触れ合いを求めて」(2008)(2009)(2010)(2011)(2012)。「実習での心の育ちあい」(小竹利夫)。その他、適宜資料を配布。		
履修上の心得・ルール		
私語禁止。飲食禁止。		